

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	20120 訟務事務事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野		市長公約	
	担当課	総務部 危機管理課	内線		2466	款	2		総務費	個別分野		
						項	1		総務管理費	施策概要		
						目	1		一般管理費	根拠計画		

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・法律の専門家への相談体制を構築し、公正な公務の確保と係争行政基盤の強化を図る。	概要	・顧問弁護士を設置し、公務に係る法律問題の相談を行う。 ・行政訴訟においては弁護士を訴訟代理人に立て対応する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H27		H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		5,264	2,520	5,254	6,806	4,267
特定財源	国費()					
	県費()					
	その他()					
一般財源		5,264	2,520	5,254	6,806	4,267
個票枝番	主な事業内容					
	訟務事務費	5,264	2,520	5,254	6,806	4,267

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)
5,259	5,254	5,254	0
5,259	5,254	5,254	0
査定額	説明		
5,254	行政裁判訴訟代理等委託料		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・顧問弁護士を設置し、公務に係る法律問題の相談体制を構築した。(相談実績84回) ・民事訴訟事件について弁護士を訴訟代理人に立て対応した。
評価等	・顧問弁護士への相談結果を記録し担当課で共有することで、公平・公正な行政運営の実現と職員の法制能力の向上に努めた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定 ・行政活動に係る法的紛争を未然に防止するため、顧問弁護士相談の活用が必要である。

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・顧問弁護士を設置し、公務に係る法律問題の相談体制を構築した。(相談実績42回) ・民事訴訟事件について弁護士を訴訟代理人に立て対応した。
評価等	・顧問弁護士への相談結果を記録し担当課で共有することで、公平・公正な行政運営の実現と職員の法制能力の向上に努めた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定 ・行政活動に係る法的紛争を未然に防止するため、顧問弁護士相談の活用が必要である。

施策の実施方針	・公務に係る法律問題について顧問弁護士への相談体制を構築し、職員の法制能力の向上に努めることで、市民から信頼される行政運営の実現を図る。
担当課予算要求ポイント	・顧問弁護士を設置し、法律問題の相談体制を構築する。
財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	21300 総合防災訓練事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約
			款	2	総務費		個別分野	7	防災	
			項	1	総務管理費		施策概要	1	地域の防災力の向上と市民初動体制の確立	
			目	13	災害対策本部費		根拠計画	高山市地域防災計画		
担当課	総務部 危機管理課	内線	2466							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・防災訓練を通じて地域の防災力を向上させるとともに、市民の防災意識の高揚を図る。	概要	・総合防災訓練(9月) ・土砂災害・全国防災訓練(6月) ・火山防災訓練(11月)
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
地域防災リーダーがいる町内会の割合	50.88%	56.54%	60.00%
災害時応援協定締結団体数	73団体	74団体	80団体
火山防災協議会設置数	4協議会	4協議会	3協議会

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H27		H28			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		4,400	2,754	4,000	4,000	3,448	694
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		4,400	2,754	4,000	4,000	3,448	694
個票枝番	主な事業内容						
	総合防災訓練事業費	4,400	2,754	4,000	4,000	3,448	694

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		4,400
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
4,824	4,100	4,100	100	
4,824	4,100	4,100	100	
査定額	説明			
4,100	訓練会場設営委託料ほか			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・本庁及び各支所の現地会場において住民避難訓練をはじめとする総合防災訓練を実施した。(参加者2960名) ・高根町日和田地区で土砂災害防災訓練を実施した。(参加者68名) ・奥飛騨温泉郷地域を対象に焼岳噴火を想定した火山防災訓練を実施した。(参加者544名)
評価等	・住民避難訓練、災害図上訓練(DIG)、発災型対応訓練など住民参加型の実践的な訓練を行い、市民の災害初動体制の確立をはかった。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定 ・市民の防災意識の維持・高揚のため、継続して実践的な防災訓練を継続する必要がある。 ・御嶽山の噴火を想定した火山防災訓練が必要である。

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・本庁及び各支所において住民避難訓練をはじめとする総合防災訓練を実施した。(参加者2600名) ・上宝町長倉地区で土砂災害防災訓練を実施した。(参加者143名) ・奥飛騨温泉郷地域を対象に焼岳噴火を想定した火山防災訓練を実施した。(参加者512名) ・朝日、高根地域を対象に御嶽山の噴火を想定した火山防災訓練を実施した。(参加者169名)
評価等	・住民避難訓練、災害図上訓練(DIG)、発災型対応訓練など住民参加型の実践的な訓練を行い、市民の災害初動体制の確立をはかった。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定 ・市民の防災意識の維持・高揚のため、継続して実践的な防災訓練を継続する必要がある。 ・訓練内容の高度化を図るため、災害対策本部訓練において専門家(外部講師)の指導によるブラインド型訓練の実施を検討する必要がある。

施策の実施方針	・地域の防災力の向上と市民初動体制の確立
担当課予算要求ポイント	・バスによる避難や全市民が参加できるシェイクアウト訓練の実施など住民が実際に動きのある実践的な訓練を行う。 ・専門家を総合防災訓練に招聘し、講評・監修していただくことで、訓練内容の高度化を図る。
財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	21310 災害対策事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	・自然災害などの発生時に地域や避難所のリーダーとなれる市民防災リーダーの育成に努めます。
	款	2	総務費		個別分野	7	防災						
	項	1	総務管理費		施策概要	2	防災体制の充実						
	目	13	災害対策本部費		根拠計画	高山市地域防災計画							
担当課	総務部	危機管理課	内線	2466									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・自然災害等発生時に市民の生命や財産を守る総合的な防災体制を構築する。	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・防災エキスパート研修により地域防災リーダーを育成する。 ・防災行政無線、防災ラジオ等による多様な情報伝達手段を確保する。 ・防災備蓄品の計画的な購入をすすめる。 ・災害時応援協定の締結により防災体制を充実させる。
----	-------------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
地域防災リーダーがいる町内会の割合	50.88%	56.54%	60.00%
災害時応援協定締結団体数	73団体	74団体	80団体
火山防災協議会設置数	4協議会	4協議会	3協議会

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		90,800	82,110	166,920	166,920	134,548	52,438
特定財源	国費()						
	県費(ライフライン保全対策事業費)	2,000	1,745	7,250	7,250	4,317	2,572
	その他()	7,320	6,812	17,820	17,820	11,958	5,146
一般財源		81,480	73,553	141,850	141,850	118,273	44,720
個票枝番	主な事業内容						
	自動起動防災ラジオ普及に対する助成	10,000	7,639	10,000	10,000	7,584	△ 55
	防災エキスパートの育成	300	19	300	300	13	△ 6
◎ 1	道路沿線立木の伐採によるライフライン保全対策	8,000	6,983	29,000	29,000	17,269	10,286
◎ 2	無人航空機(ドローン)の導入	0	0	600	600	528	528
◎ 3	防災備蓄物資購入(スターリングエンジン付きストーブほか)	5,000	4,351	8,200	8,200	6,970	2,619

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		107,700
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
123,736	117,452	117,452	△ 49,468	
1,695	0	0	0	
6,875	6,875	6,875	△ 375	
17,070	17,070	17,070	△ 750	
98,096	93,507	93,507	△ 48,343	
査定額	説明			
10,000	防災ラジオ利用料に対する助成			
900	避難所運営に協力できる避難所運営リーダーの育成			
27,500	丹生川1路線、清見2路線、荏川3路線、朝日1路線			
0				
12,000	小分けできる備蓄食料、テント、簡易ベッドなど防災備蓄品の購入			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災の中心的な役割を担える人材を育成するため防災エキスパート事業を開催した。(研修会参加者164名) ・倒木によるライフライン被害を防止するため沿線立木の伐採を行った。(5路線、1169本) ・備蓄計画に基づき災害用備蓄食料等を購入した。(アルファ化米12000食ほか)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・防災エキスパート事業の実施により、地域防災力の向上を促進した。 ・避難者が少数である場合に対応しやすい小分けタイプの備蓄食料を導入する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・防災エキスパート事業を継続して実施し市民の自助・共助の取り組みを促進する。 ・小分け可能な備蓄食料の導入を検討する。

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災で実際に避難所運営に関わった防災リーダーを講師に招きエキスパート研修会を開催した。(研修会参加者193名) ・倒木によるライフライン被害を軽減するため沿線立木の伐採を行った。(5路線、4501本) ・災害現場を空撮し被害状況の把握に役立てるため無人航空機(ドローン)を導入した。 ・災害用備蓄として、新たにスターリングエンジン付ストーブを導入した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・防災エキスパート事業により、地域防災力の向上を促進した。 ・地域が主体的に避難所の運営を行えるよう、避難所運営リーダーの育成、避難所運営マニュアルの見直しをすすめる必要がある。 ・車中泊避難者への対応など防災備蓄品の拡充が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民を対象に避難所の運営に重点をおいた研修、訓練を実施する必要がある。 ・テントや簡易ベッド、空気電池など防災備蓄品の拡充を検討する。

施策の実施方針	・市民の生命、身体及び財産を災害から守るための防災体制の整備
担当課 予算要求ポイント	・車中泊避難者の発生など、大地震災害で新たに浮かび上がった課題への対応
財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	21310 災害対策事業費	区分	<input type="checkbox"/> H28新規	<input type="checkbox"/> H29新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	総務部 危機管理課
枝番・内容	1 道路沿線立木の伐採によるライフライン保全対策		<input checked="" type="checkbox"/> H28拡充	<input type="checkbox"/> H29拡充		款	2	総務費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	総務管理費	内線	2466	
		<input type="checkbox"/>		目		13	災害対策本部費	作成年月	H29.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・倒木による停電や道路交通障害などが発生するおそれがある立木を事前に伐採することで、倒木による被害を未然に防ぐ	概要	・現地調査により立木を確認し伐採について地権者の同意を得る。 ・立木を伐採する。
----	---	----	---

[参考] H27決算(Do-Check) H28.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	0
	補正等	8,000
	最終	8,000
決算額		6,983
対前年度増減額(決算)		6,983

[参考] H28当初予算(Action) H28.3時点 (千円)

予算額	当初	29,000
主な経費	・立木伐採、調査委託料 27,600	
	・補償費 1,400	
対前年度増減額(当初予算)		29,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H28決算(Do-Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	29,000
	繰越	0
	補正等	0
	最終	29,000
決算額		17,269
対前年度増減額(決算)		10,286

H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	27,500
主な経費	・立木伐採、調査委託料 25,800	
	・補償費 1,700	
対前年度増減額(当初予算)		△ 1,500

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
<p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> 立木伐採本数 1169本 松之木上野線(高山地域) 中山線(高山地域) 合同庁舎1号線(高山地域) 昭和山田線(高山地域) 石浦大洞線(高山地域) <p>・次年度の伐採に向けた立木調査 丹生川上宝線(丹生川地域)</p> <p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> 緊急輸送路や電力供給上幹線となる路線を電力会社、県と協議し伐採を行った。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> 立木伐採予定路線 市道丹生川上宝線(丹生川地域) 宮高山線(高山地域) 市道平野線(久々野地域) 市道舟山2号線(久々野地域) <p>・次年度の伐採に向けた立木調査 町屋野々俣1号線(荘川地域) 平頭町屋線(荘川地域) <p>[スケジュール]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28年上半年 現地調査及び地権者との交渉 ・H28年下半年 立木の伐採 </p>	

事業実績・評価等	
<p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> 立木伐採本数 4501本 市道丹生川上宝線(丹生川地域) 宮高山線(高山地域) 市道平野線(久々野地域) 市道舟山2号線(久々野地域) 平頭町屋線(荘川地域) <p>・次年度の伐採に向けた立木調査 町屋野々俣1号線(荘川地域) 平頭町屋線(荘川地域) <p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠隔地在住や相続の未整理などが原因で地権者の同意を得るのに時間を要した。 ・同意を得られた路線について次年度予定の路線を一部先行して伐採を行った。 </p>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input checked="" type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> 立木伐採予定路線 瓜田法力線(丹生川地域) 巢野俣8号線(清見地域) 双六金木戸線(上宝地域) 町屋野々俣1号線(荘川地域) 平頭町屋線(荘川地域) 牛丸日照線(荘川地域) 西洞線(朝日地域) 	
<p>[スケジュール]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H29年上半年 現地調査及び地権者との交渉 ・H29年下半年 立木の伐採 	

主要事業個票(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	21310 災害対策事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> H28新規	<input type="checkbox"/> H29新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	総務部 危機管理課
枝番・内容	2 無人航空機(ドローン)の導入		<input type="checkbox"/> H28拡充	<input type="checkbox"/> H29拡充		款	2	総務費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	総務管理費	内線	2466	
		<input type="checkbox"/>		目		13	災害対策本部費	作成年月	H29.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・災害現場を空撮できる無人航空機(ドローン)を導入し、被害情報の把握に役立てる。	概要	・災害現場を空撮できる無人航空機(ドローン)を導入する。
----	--	----	------------------------------

[参考] H27決算(Do-Check) H28.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	0
	補正等	0
	最終	0
決算額		0
対前年度増減額(決算)		0

[参考] H28当初予算(Action) H28.3時点 (千円)

予算額	当初	600
主な経費	ドローン本体購入費	
対前年度増減額(当初予算)		600

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H28決算(Do-Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	600
	繰越	
	補正等	
	最終	600
決算額		528
対前年度増減額(決算)		528

H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	0
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		△ 600

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・災害現場を空撮できる無人航空機(ドローン)を導入する。	
[スケジュール] ・H28年上半年 無人航空機を導入し総合防災訓練で使用する ・H28年下半年 操縦者の育成、災害現場での活用	

事業実績・評価等	
[事業実績] ・無人航空機を導入し、総合防災訓練において飛行訓練を行った。 ・無人航空機を操作できる操縦者を3名育成した。	
[評価] ・総合防災訓練や出初式の様子を空撮するなど無人航空機の操作の習熟に努めた。 ・大雪となったため市街地雪捨て場(河川)の状況を空撮し、現場状況の把握に役立てた。	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input checked="" type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

主要事業個票(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	21310 災害対策事業費	区分	<input type="checkbox"/> H28新規	<input type="checkbox"/> H29新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	総務部 危機管理課
枝番・内容	3 防災備蓄物資購入(スターリングエンジン付きストーブほか)		<input checked="" type="checkbox"/> H28拡充	<input type="checkbox"/> H29拡充		款	2	総務費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	総務管理費	内線	2466	
		<input type="checkbox"/>		目		13	災害対策本部費	作成年月	H29.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・公共備蓄をすすめ災害から市民の生命を守る。	概要	・食料などの生活必需品を備蓄する。
----	------------------------	----	-------------------

【参考】H27決算(Do-Check) H28.8時点 (千円)

予算額	当初	5,000
	繰越	0
	補正等	0
	最終	5,000
決算額		4,351
対前年度増減額(決算)		4,134

【参考】H28当初予算(Action) H28.3時点 (千円)

予算額	当初	8,200	
主な経費	・災害備蓄食料購入費		
	・ロケットストーブ購入費		
	対前年度増減額(当初予算)		3,200
	※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり		

H28決算(Do-Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	8,200
	繰越	0
	補正等	0
	最終	8,200
決算額		6,970
対前年度増減額(決算)		2,619

H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	12,000	
主な経費	・災害備蓄食料購入費		
	・テント等防災備蓄品購入費		
	対前年度増減額(当初予算)		3,800
	※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり		

事業実績、評価等	
<p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備蓄計画に基づき災害用備蓄食料を購入した。 <p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命を維持するために必要となる食料等を被災直後から提供できるよう公共備蓄を行った。 	<p>次年度以降の考え方(担当課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難者が少数でも対応できる小分け可能な備蓄食料の導入を検討する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備蓄計画に基づき災害用備蓄食料を購入する。 ・災害用備蓄として、スターリングエンジン付きストーブを導入する。 	<p>[スケジュール]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28年下半年 備蓄食料の更新

事業実績、評価等	
<p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被害想定に基づき災害用備蓄食料を購入した。 ・避難所で活用するためスターリングエンジン付きストーブを導入した。 <p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命を維持するために必要となる食料等を被災直後から提供できるよう公共備蓄を行った。 ・スターリングエンジン付きストーブを購入し、一般市民への認知度を高めるため、本庁及び支所で展示・貸出を行った。 	<p>次年度以降の考え方(担当課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車中泊避難者への対応のためテントなどの防災備蓄品の拡充を検討する必要がある。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備蓄計画に基づき災害用備蓄食料を購入する。 ・テントや簡易ベッド、非常用電池などの災害備蓄品を拡充する。 	<p>[スケジュール]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H29上半期 テント、簡易ベッドの購入 ・H29下半期 備蓄食料の更新